

# 令和7年度 武生高等学校（定時制）スクールプラン

福井県教育委員会  
「一人ひとりの個性が輝く、  
ふくいの未来を担うづくり」

（福井県教育振興基本計画の基本理念）

校訓  
1 真理と正義を愛して学問に精励し、人格の完成に努める  
2 謙譲と敬愛の精神をもって、自主的かつ積極的に己を尽くす  
3 勤労と責任を重んじ、自由にして明朗な社会人としての成長を期する

## 努力目標

- (1) 教師と生徒、生徒相互の人間関係を深めて互いを理解することから、心豊かな人間性の育成に努める。
- (2) 生徒一人ひとりの主体的な活動を通して、自主性の育成に努める。
- (3) 基礎的・基本的な知識および技能の習得とともに、それらを活用する力の育成に努める。
- (4) 基本的な生活態度や礼儀を身につけ、社会性の育成に努める。
- (5) 生徒の多様な能力や適性に応じた進路支援を進め、望ましい勤労観・職業観、勤労意欲の育成に努める。
- (6) 教育環境の整備・美化を進め、健全な心身の育成に努める。
- (7) 特別支援教育の充実に努める。

## 業務改善のための取組

- ・教育業務支援員や部活動指導員を効果的に活用し、教員が本務にあたる時間を確保する。
- ・ネットワークによる生徒情報の共有化を図る。
- ・勤務時間に関する労務管理を徹底する。

## 人権教育の推進

- ・各教科科目、総合的な探究の時間および特別活動等を通して、互いに尊重し合い、寛容と思いやりの心を育てる。

## 重点目標

### （共通項目） 1 教育課程・学習支援

地域の基盤となる人材を育成するため、社会への関心を持ち、自ら学ぶ意欲を高め、常に学び続ける姿勢を身につけさせる。  
(2) (3) (7)

### （共通項目） 2 生徒支援

地域社会に役立つ人材育成のため、基本的な生活習慣を身につけさせるとともに、「自立しようとする意識」と「自他の命を尊重する心」を育む。  
(2) (4)

### （共通項目） 3 進路支援

生徒の多様性に応じた進路支援を行うとともに、充実したキャリア教育の実現を目指し、地域社会に根付く人材を育てる。  
(5) (7)

### （独自項目） 4 教育相談・保健指導・通級指導

支援を要する生徒に対し、適切な支援方針の策定につとめ、社会に対する適応能力の育成につなげるとともに、生徒一人ひとりの心身の健康を守る。  
(1) (6) (7)

## 具体的取組

a 多様な選択授業を実践することにより、わかる授業や学び直しの授業、発展的な選択授業によって授業参加を促し、生徒の自主的な学習意欲を引き出す。

目標：授業の出席率を上げる各取組の達成指数または取組指数 80%以上

b 読書の大切さを啓蒙し、こころ豊かな生徒の育成を図る。

目標：1冊以上の本を読んだ生徒 50%以上

## 具体的取組

a 生徒心得やマナーを守り、規範意識を高めさせる。その際に、地域や県との関係機関と連携を図り、生徒の意識向上に努める。

目標：「生徒心得を守っている」生徒 90%以上

b 自転車の車体検査や交通安全教室を実施し、警察署と連携して交通安全指導を行う。また、自転車乗車時のヘルメット着用義務化に向けて生徒の意識醸成を図る。

目標：自転車検査時にヘルメットを準備した生徒の割合 70%以上

## 具体的取組

a 総合的な探究の時間を活用し、入学から卒業まで一貫したカリキュラムによる支援を行い、キャリア教育を充実させる。

目標：総合的な探究の時間が自己の適性を知ることや自分の進路について考えることに役だったと感じた生徒 70%以上

b 個々の生徒に応じたサポート学習、進学支援、就職支援を充実させる。

目標：学校による進学、就職支援が自分の進路選択に役立ったと感じた生徒 70%以上  
c 外部機関や教育相談との連携を密にして、進路選択に向けての生徒への働きかけを充実させる。

目標：外部機関や教育相談との連携、進路行事が生徒の進路選択に役立ったと感じる教職員 80%以上

## 具体的取組

a 担任・SC/SSW・通級担当者とのケース会議を実施し、生徒理解を深めて適切な支援に努める。

目標：「生徒情報の共有」を毎日実施する。

b 校内環境美化や感染症対策をはじめとした衛生管理を推進する。

目標：校内のゴミ分別に取り組みした生徒の割合 80%

c 通級指導では、生徒の自立を目指し、個々の特性による困難を改善・克服するため、一人ひとりの状況に応じた指導を行う。

目標：通級指導生徒の成果を実感できたと感じる教職員 80%以上